

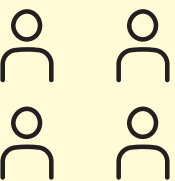





Ⅲ 生徒受入体制の在り方

項目	内容
<p>公立と私立との協調</p> 	<p>本県の子供たちが本県で十分な高校教育を受けられるよう、公立高校と私立高校で協調し、生徒受入体制を整備</p>
<p>県立高校の再編整備</p> 	<p>少子化を始め、学校を取り巻く環境が急激に変化している状況を踏まえ、高校教育の質的水準の維持・向上のために再編整備を計画的に実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 学校活力維持のために、学校規模は1学年当たり4～8学級を基本とし、適正規模を下回る学校については、地域の実情を踏まえながら、統合等により学校規模を適正化 ■ 県内を、原則として8地区に分けて検討 ■ 各地区に、普通科を置く一定規模の中核となる学校を維持 ■ 職業系専門学科の専門性の維持・向上のために、全県的視野で学科の拠点校を整備 ■ 学科別定員の比率は、普通科：専門学科：総合学科＝6：3：1を目安とする ■ 定時制・通信制については、多様な学びのニーズに対応できるよう、再編整備を検討・実施
<p>小規模校 ※1学年2学級校</p> 	<p>地域との情報共有を図りながら、今後の在り方を検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 各校が地域で担ってきた役割を踏まえ、ICTの活用等による高校教育の質の維持・向上を図りながら、一層の特色化を推進 ■ 充足率や地元中学校からの入学者数等の目安を踏まえて、統合を含む再編整備を検討・実施 ■ 特例的に定員の引下げを行っている学校は、生徒通学状況や地域の実情を踏まえ、1学年1学級化も含めて再編整備を検討・実施 ■ 再編整備に当たっては教育の機会均等に配慮しながら、意見交換の場を設定するなどし地元の理解を得ながら検討

本県の子供たちが本県で十分に学べる体制整備と魅力ある学校づくり

項目	内容
<p>学校・学科</p> 	<p>魅力ある学校づくりのために、学校・学科の特性を生かし、特色化を推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 全日制普通科系学科 <ul style="list-style-type: none"> ・各地区ごとに中核となる学校を整備 ・学際科学的な学びや探究的な学びに取り組む学科やコースの設置を検討 ■ 全日制職業系専門学科 <ul style="list-style-type: none"> ・学科の中心となる拠点校の整備 ・農業科、工業科等は学級定員の引下げを検討 ■ 全日制総合学科 <ul style="list-style-type: none"> ・多様な学びの選択に加え、専門教育の深化を図る ・特色化、学校活力維持の観点から、他学科から総合学科への改編を検討 ■ 定時制・通信制 <ul style="list-style-type: none"> ・多様な学びのニーズに対応できるよう、教育内容を充実 ■ 中高一貫教育校 <ul style="list-style-type: none"> 【連携型中高一貫教育校】 <ul style="list-style-type: none"> ・連携中学校と高校間で培ってきた、地域に根ざした教育を基盤に特色化を推進 ・地域との意見交換を密にし、今後の在り方を検討 【中等教育学校】 <ul style="list-style-type: none"> ・6年間の一貫した学習環境で、特色ある教育活動を推進
<p>入学者選抜</p> 	<p>「多様な選抜尺度により生徒の優れた点を積極的に評価」の趣旨の下、制度の改善を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 受検者の能力や適性、学習到達度を公正・公平に評価できるよう、受検機会・検査内容を検討 ■ 全県一学区を継続
<p>男女共学の推進</p> 	<p>SDGsの理念を踏まえ、多様性を認め合う教育を推進</p> <p>県民の理解を得ながら、今後の高校教育改革の中で、男女共学化を推進</p>